



混沌とした時代、
日々、流れてくるニュースに心を痛め、
世の中の平和を祈らずにはいられない—
そんな自分自身の心そのものを、
私たちは十分にケアできているのでしょうか？



インドの伝統的な哲学と、世界各国での人道的支援活動の様々なご体験、
そして、世界中の3,400万人の人を抱きしめ、その心を癒してきたアンマの教えをもとに、
いまを生きる、あらゆる状況における、人と自分自身の心のケアの重要性をお話頂けます。

世界の平和を願うすべての人たちの心のケアのために
生きることの大切さや、いのちへの尊厳をあらためて感じる—
本講演が皆様の中に新たな安らぎを生む、契機の一つとなれば幸いです。

《要予約・参加費無料》

【日程】2015年4月29日(水)

【時間】14時～17時(13:30開場)

【内容】講演、Q&A等

【場所】日立システムズホール
(青年文化センター)3階 和室3

※会場への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

【住所】仙台市青葉区旭ヶ丘三丁目27-5

(地下鉄旭ヶ丘駅下車:仙台駅から10分・1番出口より徒歩3分)

【お問い合わせ(ご予約)】・メール:shantaji_tour@amritaheart.com

※件名に『仙台』とご入力の上、本文にはお名前をご入力頂き送信下さい。



アンマ

いま、この命を生きる

—自身の心のケアから、人への思いやりへ—

私たちがいつの間にか無意識に抱いてしまっている周囲の人々への無関心や不信感…。
一人ひとりが周囲の人々に関心を持ち、そしてお互いに信頼し合って思いやりを持って生きるためには—

講演後にはQA等も
予定しておりますが、
シャントジは、英語・日本語
共に流暢に話されます。
是非お気軽にご来場下さい。

演者:ブラマチャリー・シャーンタアムリタ・チャイタンニャ(通称:シャントジ 僧侶)【アンマ(シュリー・マター・アムリタ・ナンダマイー・デーヴィの直弟子)】

この度、国際的慈善団体の代表アンマの直弟子、シャーンタアムリタ・チャイタンニャ(シャントジ:僧侶)をお招きし、インドの伝統的な哲学や、
国際的人道活動等の貴重なご経験をもとに、いま、この命を生きるために、心の扱い方やその重要性について、お話頂く機会を得られました。
新たな安らぎを実感する一つのきっかけとなれば幸いです。

＜主催＞特定非営利活動法人 国際チャリティ協会アムリタハート 〒206-0803東京都稲城市百村1620-1



<エンブレッシング・ザ・ワールド(ETW www.embracingtheworld.org/)とは>

世界の貧しい人々や被災者の苦しみが軽減されるよう、食料、住居、教育、保健医療、収入機会創出という、5つの基本的ニーズの充足を支援することを理念とした、活動の総称であり、災害支援活動をはじめ、インドやアフリカにおける孤児院の設立と運営、住居のない人々のために無償で住宅を建設・提供するプロジェクト、1500床の非政府病院の設立運営等、広範にわたる多種多様な活動が、現在42ヶ国以上で展開されている。2011年9月には、東日本復興支援として、みやぎ子ども育英基金に対して100万米ドル(当時約8,060万円)を宮城県へ寄贈した。ETWの中核組織は、国連のNGO 諮問資格を有するM.A. マートであり、日本ではNPO法人国際チャリティ協会アムリタハートがこの活動を担っている。



with amma

<シャーンタアムリタ・チャイタンニャ プロフィール>

国連の諮問資格を有し、世界42ヶ国以上で人道的支援活動を展開する大規模な国際的慈善団体MAマートによるネットワーク、エンブレッシング・ザ・ワールド(ETW)の代表であるアンマの直弟子。'90年、アンマに出会い、アンマによる霊性の教えや人道的支援活動等に感銘を受け、'93年、アンマのもとへ見習い僧として出家する。その後、ETWのプロジェクトの一環として、1500床の非政府病院の建設プロジェクトマネージャーを務め、また、インドにおける10万世帯の貧困に苦しむ家族のための住宅建設や、アフリカ・ケニアでの孤児院設立・運営プロジェクト等に参加。2009年、UNDP国連アフリカ本部では、ストレスマネジメントワークショップの一環とし、ソマリアに派遣されるプログラム管理者を対象に、メディテーション・ヨガ等を教える。2011年フィジーにて、国連スタッフ限定イベントプログラム「仕事と生活の調和」のワークショップを行い、多くの人が心の休息と、心のバランスを取る術(すべ)を求めて来場した。2002年から2012年の間、ETWの支部のひとつである、日本のMAセンターの責任者を務める。現在は、MAセンター(シカゴ)の責任者を務め、アメリカ中西部を周り、定期的に講演や社会奉仕プログラムを行っている。

<アンマ プロフィール>

訪れる人、一人ひとりを抱きしめる、という行為で世界中の人からアンマ(お母さん)と慕われるマター・アムリターナンドマイー・デーヴィは、過去44年間に渡り、世界中を歴訪し、延べ3千400万人以上もの人々を抱きしめ、その心を癒してきた。ときに、4万人以上の人を20時間以上かけて抱きしめることもあり、海外のメディアからは「抱きしめる聖者」とも呼ばれている。2007年アメリカCBS-TVでは、世界で最も影響力のあるスピリチュアルリーダーのひとりとして、ローマ法王やダライ・ラマ法王と共に紹介された。国連から招聘され、国連の会議などで代表スピーチを行うなど、国際社会にも影響を与えている。また、国際的な人道活動家としても知られ、エンブレッシング・ザ・ワールド(ETW)の代表も務める。

2014年12月、ローマ法王から、バチカンにて開催された「奴隷制度廃止国際デー」の集いに招聘され、現代の奴隷制度の根絶を目指す共同宣言に、ローマ法王らと共に署名した。

海外では大統領やノーベル賞受賞科学者なども抱擁を受け、アメリカでも国会議員たちが国会議事堂にアンマを招いて抱擁を受けるなど、社会的に広く認知されている。

アンマは年に一度来日し、講演会等のプログラムを行う他、来場者一人ひとりを抱擁し、無数の人が無私の愛と深い安らぎを経験している。2014年5月には24度目の来日を果たし、平日3日間のプログラムで、1万人もの人がアンマの抱擁を求めて来場した。今年、2015年5月には、25回目となる来日プログラムを予定している。



宮城県のこども育英基金のために、村井知事に100万ドルを寄贈



シャーンタジ、村井知事、スワミジ(アンマの高弟)

